

ノートのかき方の指導

1. ノートは、授業を振り返るためにあるものである。低学年は、家に帰ってノートを開いて復習するだろうか。

3・4年生ぐらいからノート指導をしていくのが適当だと考える。

それまでは、ノートをメモとか練習用紙と考えてもいいのではないか。

1年：ノートは、ほとんど使わない。

2年：ワークシートが主になる。ノートは、ほとんど使わない。

3年：ワークシートを中心にノートと併用する。

4年：ノート指導。ワークシートは、ほとんど使わない。

5年：ノート指導。ワークシートは、ほとんど使わない。

6年：ノート指導。ワークシートは、ほとんど使わない。

※理科・社会については、ノート指導をすると授業がしやすい。

2. ノートは、毎回、毎時間チェックが必要である。そして、きちんと評価することである。「A/B/C」とかノートにかいてやること。

上手にかいているノートは、コピーして掲示するのもよい。(評価の「見える化」)

3. 基本的にノートのかき方は、指導者の意図によって変わるべきである。

・どのようにまとめさせたいのか。

・何をどうかかせたいのか。

・どんな目的でノートを使わせるのか。 など ※メモと同じレベルならノート指導は必要ない。

4. ノートのかく内容を決めるとき、場所を決めておくこと。「どこにかくか」

・何行目というように、きちんと線を引いてからかかせること。(ワークシートのようにする。)

5. ノートは、A4 5mm方眼ノートが使いやすい。(国語を除いて)

・国語は、A4 縦書きがよい。

問題解決学習をするための

ノート指導を考えていこう。

字の大きさの目安

1・2年

あ	い	う	え	お					
か	き	く	け	こ					

1 cm のマスに 1 字をかく。

1 行空けてかく。

3・4年

あいうえお									
かきくけこ									

マスに関係なく、行の幅にそろえてかく。

1 行空けてかく。

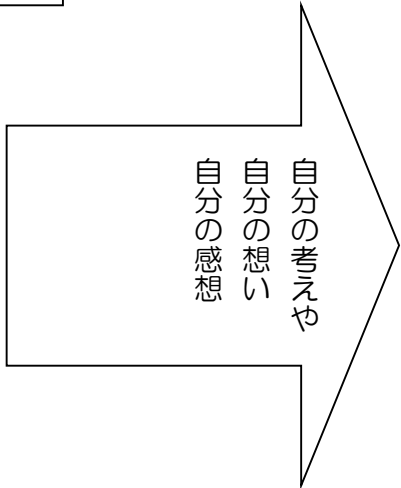
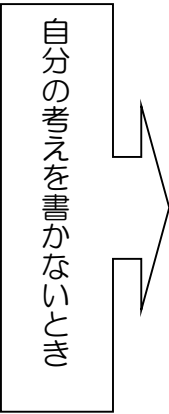
5・6年

あいうえお	<input type="checkbox"/>
かきくけこ	<input type="checkbox"/>

マスに関係なく、

行の幅の2/3ぐらいの大きさの字を下にそろえてかく。

行は、空けない。

<p>国語①</p>  <p>自分の考えや 自分の想い 自分の感想</p>	<p>(口付) 今日の課題</p> <p>国語②</p>  <p>自分の考えを書きなごうき</p> <p>(口付)</p> <ul style="list-style-type: none">○学習のまとめ○知識・理解の学習○言葉・文法的なもの○漢字○言葉の意味調べ
<ul style="list-style-type: none">○自分の考え○課題に対する自分の答え○段落ごとの自分の書いた要点。	<ul style="list-style-type: none">○話しあった内容○授業のまとめ○黒板に書いてある内容○友達の見聞や考え

社会科ノート1 (ノート自体が、板書になる。だから、ノートを事前にかいておくと授業ができる。)

※単元のはじめに「何を学習して」「何について考えるか」をはっきり示す。

<p>(日付) 単元名または、小単元名 (今日の課題) • ○○について調べて、△△について考えよう。 (調べて知る内容とそこから考える内容を提示する。)</p>	<p>(わかったことや考えたこと) ○発表→板書 ※自分の考えをかかせてから、発表させるとよいが、はじめは、なかなかかけないから、一斉指導の中で意見を言わせて、板書する。</p>
<p>○調べる範囲を示し、資料があれば、資料を与える。 ○調べる項目をかく。 ①一人調べ ②発表→板書 ※板書を見て、補足や修正をさせる。</p>	<p>○調べたことから何を考えさせるかを決めるのがむずかしい。 まちがえると、授業を失敗する。(教科書には、載っていない。)</p>
<p style="text-align: center;">個人のページ</p>	<p style="text-align: center;">一斉指導のページ</p>
	<p>(本時の感想) ○自分の考えをかく。</p>

見開き2ページでまとめる。
余白ができてそのままにしておく。

一緒になることもある。

(まとめ)
○主に知識・理解の内容

社会科ノート2

<p>(日付) 単元名または、小単元名 (今日の課題)</p>	
<p>(まとめ)</p> <p>○一斉指導の場合 ○黒板に書かれた内容 ○話し合いの後の自分の考え ○知識・理解の内容</p> <p>※こういう内容は、ワークシートにして、ノートに貼らせるのがよい。</p>	

算数科ノート

<p>(日付) 今日の課題または、今日の問題</p> <p style="text-align: center;">算数①</p>	<p>(計算問題や文章題などをするとき)</p> <p style="text-align: center;">算数②</p> <p>○ノートを半分にして、使う。</p>	
<p>○自分の考えや自分の解答</p> <p>○友だちの考えや友だちの解答 自分のやり方や考え方とちがうもの いろいろな考えや解法を知る。</p>	<p>○筆算の計算問題などは、1問ずつ書き、つめない。</p> <p>○練習問題・計算問題・文章題などをするとき、ノートを別にしてもよい。</p>	
<p>(まとめ)</p> <p>○見方や考え方 思考過程</p> <p>○用語など知識・理解</p> <p>(振り返り) 1ページにおさまらない場合は、次ページにする。</p> <p>○練習問題 定着を図る</p> <p>(感想)</p> <p>○授業後の感想</p>	<p style="text-align: center;">↓</p>	<p style="text-align: center;">↓</p>

理科ノート（ノート自体が、板書になる。だから、ノートを事前にかいておくと授業ができる。）

1. 実験用（理科）

導入①経験のあるものについては、その経験を述べさせて、「本当かどうか確かめよう」とする。

導入②経験のないものや少ないものは、必ず単元のはじめに「遊び」が入っているので、その「遊び」をさせて、そこから疑問を出させ、課題とする。

○月○日（○）天気：○	（結果） ※結果のまとめ方も示さなければならないときもある。
（実験する事柄） ※疑問文になる場合が多い。	
（予想） ○予想（こうなる。） ○結果の予想もかく。（だからこういう結果になるとおもう。）	（わかったこと） ○授業のまとめ ○結果から導き出せること。 ○必要な知識・理解も加味する。
（図と説明） ○実験内容をかく。 ○絵も加え、詳しくかく。 ○新しい用語は、かいておく。 ・器具の名前 薬品の名前 など ※全体で、同じ実験をする場合は、指導者が、子どもと話し合いながら板書する。 ※実験別グループで子どもたちに考えさせてやる場合は、それぞれのグループの内容を確認する。WBに自分たちの実験内容をかかせると、共通理解することができる。	
	（感想）

見開き2ページでまとめる。
余白ができてそのままにしておく。

2. 観察用（理科）

○月○日（○）天気：○	<p>（結果）</p> <p>※WS をみて、結果をまとめる。</p>
<p>（観察する事柄）</p> <p>・○○の△△を観察して□□についてまとめよう。（考えよう）</p>	
<p>（図と説明）</p> <p>○観察の観点や視点をかく。</p> <p>・何を観察するのかをはっきり示す。</p> <p>○新しい用語は、かいておく。</p> <p>・器具の名前 薬品の名前 など</p> <p>○観察記録は、別紙（WS）にかく。</p>	<p>（わかったこと）</p> <p>○授業のまとめ</p> <p>○結果から導き出せること。</p> <p>○必要な知識・理解も加味する。</p>
	<p>（感想）</p>

見開き2ページでまとめる。
余白ができてそのままにしておく。

3. 知識理解が主のとき（理科）

<p>(日付) 単元名または、小単元名 (今日の課題)</p>	
<p>(まとめ)</p> <ul style="list-style-type: none">○一斉指導の場合○教科書の内容○黒板に書かれた内容○知識・理解の内容 <p>※こういう内容は、ワークシートにして、ノートに貼らせるのがよい。</p>	<p>※理科は、アシストカードを使うと便利である。または、 アシストカードを参考にノートを作ると作りやすい。</p>